

平成27年度 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
科目等履修生募集要項

1. 募集専攻名： 看護先進科学専攻及び生体検査科学専攻
2. 募集人員： 各科目若干名
3. 履修可能単位数： 8単位以内
4. 出願資格： 4年制大学卒業者（平成27年3月卒業見込の者を含む。）
但し、専門看護師資格認定希望者は、原則として修士課程修了（見込）者に限る。

5. 出願手続

- (1) 出願受付（受付時間：9時～12時、13時～17時）

期間：平成27年1月8日（木）から平成27年1月16日（金）まで

場所：東京医科歯科大学学務部学務企画課大学院教務第二掛（1号館西1階）

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL. 03-5803-4534

※出願にあたっては、予め各授業科目担当教員と履修の可否について相談の上、認印を付けて提出すること。

※やむを得ず郵送する場合は、書留郵便とし、封筒に「科目等履修生出願書類在中」と朱書きのうえ、出願期間内に必着のこと。

- (2) 提出書類等（提出書類は、学務企画課窓口で配布。郵送を希望する場合は、学務企画課に連絡すること。）

- ① 科目等履修生入学願書（様式1）

※平成26年度からの履修期間の延長者（以下「延長者」）は、履修期間延長願（様式3）

- ② 履歴書（様式2）

- ③ 最高学歴の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書及び成績証明書（平成26年度からの延長者を除く）

- ④ 返信用封筒（角形2号の封筒に、住所・氏名を記載し120円切手を貼付したもの）

- ⑤ 検定料 9,800円（平成26年度からの延長者を除く）

（本学所定の銀行振込用紙を使用して、最寄りの金融機関の窓口から電信扱いで振り込むこと。その際、金融機関から発行される「東京医科歯科大学検定料納付証明書」に金融機関の収納印があることを確認の上、必要書類に添えて提出のこと。なお郵便局からの振込は不可。また、手数料は振込人負担となります。）

- ⑥ 外国人の場合、在留資格を証明できる書類の写しを提出すること。

6. 選考及び結果

書類審査により選考し、平成27年2月17日（火）に結果を本人宛に郵送にて通知する。

7. 入学手続

合格者及び履修期間延長の許可を受けた者は、下記により入学等の手続を行うこと

（期間内に手続を完了しないときは入学及び延長を許可しない。）

- (1) 期間：平成27年2月23日（月）から平成27年2月27日（金）まで

（受付時間 9時から17時まで）

- (2) 場所：東京医科歯科大学学務部学務企画課大学院教務第二掛（1号館西1階）

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL. 03-5803-4534

- (3) 必要書類

- ① 誓約書（合格通知に同封。）

- ② 学生証（身分証明書）発行台帳（延長者を除く。）

- ③ 写真（出願前3ヶ月以内に撮影したもので上半身脱帽のもの）

縦4cm×横3cm・・・1枚

縦5cm×横4cm・・・1枚

- ④ 卒業（修了）証明書（出願時に卒業（修了）見込み証明書を提出した者。）

- ⑤ 入学料 28,200円（延長者を除く）

（本学所定の銀行振込用紙を使用して、最寄りの銀行の窓口から電信扱いで振り込むこと。また、手数料は振込人負担となります。）

8. 授業料：1単位につき14,800円（平成26年度実績）

なお、授業料の改定が行われた場合には改定時から新料金が適用されます。

※授業料の納入方法は、後日預金口座からの自動引落としにより行います。（入学手続きの際に詳細をお知らせします。）

9. その他

- (1) 既納の検定料・入学料はいかなる理由があっても返還しない。

- (2) 入学手続き完了者で授業料を納付した者が平成27年3月31日までに入学辞退及び一部科目等履修の取り消しを申し出て許可された場合は、当該授業料相当額を返還する。

- (3) 選抜に用いた個人情報教育目的以外に使用することは有りません。

本募集に係る照会

東京医科歯科大学学務部学務企画課大学院教務第二掛

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL. 03-5803-4534

10. 平成27年度科目等履修生開設授業科目一覧

(1) 看護先進科学専攻

① 共通科目

授業科目名	履修条件	単位数	講義等の内容	授業担当者 (電話番号・メールアドレス)
看護学研究法特論	看護師免許取得者のみ履修可	2	看護研究のプロセスと多様な看護学研究法、文献クリティーク、研究における倫理、科学哲学の基礎を学び、看護活動の質向上や看護技術の開発に必要な基礎的研究能力を修得する。	大久保功子 5803-5349 kouko.rhn@tmd.ac.jp
看護管理学特論	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	看護管理に関わるもの、もしくは専門看護師として、看護職によって構成される組織を効率的に運営し、その他の保健医療福祉に携わる人々の間の調整を行っていくことを可能とするために、管理とは何かを理解し、組織内におけるリーダーシップや調整機能、スタッフの能力開発などの理論および実際を学ぶ。	深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp
看護政策学特論	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	看護を取り巻く国内外の制度・政策の実際と決定プロセスについて、法学・経済学などの関連領域の研究者や行政官・国際機関での活動経験のある人など実際の政策過程に携わる実践家からの講義を通して学ぶ。各自の臨床経験・研究テーマに関連した政策・制度上の課題を整理・抽出し、グローバルヘルスの向上につながる方策を考案する。	深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp
家族看護学特論		2	家族の健康問題・家族ダイナミクスを生活と結びつけて理論的に分析する方法と実践的な援助の方法を技術として用いられるようにすることをめざす。この目的を達成するために、概念枠組・理論・評価研究方法を事例分析やケアのためのアプローチ方法を含めて修得する。	廣瀬たい子 5803-5342 tykocho.ns@tmd.ac.jp
看護情報統計学特論	修士課程修了者のみ履修可	2	看護に関する研究を行う上で必要な統計数字の見方、統計データのとり方、解析方法につき修得する。講義と演習を組み合わせ、用語・理論・方法がいずれもよく理解できるようにする。すなわち、講義と並行して、パソコンにより統計ソフトを用いて演習を行い、研究に必要な統計データの解析方法を修得する。	本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp
看護教育学特論	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	専門看護師が有する教育的機能の基本を理解し、役割を果たすための原理と技能を学ぶ。また教育的機能が、看護ケアの質向上にもたらす効果を理解し、そのための教育環境整備ならびに継続教育のあり方を学ぶ。	井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp

② 専攻科目

授業科目名	履修条件	単位数	講義等の内容	授業担当者 (電話番号・メールアドレス)
地域保健看護学特論A	修士課程修了者のみ履修可	2	地域で生活する人々に対して主に予防と健康増進を意図した地域保健看護サービスを中心として関連情報を分析し、個人・家族・集団を単位とした看護活動計画、展開法、評価法、実践や指導への応用方法、具体的な研究展開の能力を講義と討議により修得する。	佐々木明子 5803-5350 sasaki.phn@tmd.ac.jp
地域健康増進看護学特論A	修士課程修了者のみ履修可	2	地域で暮らす人々の健康寿命の延伸を目指して、日常生活習慣が経年変化に与える影響を学際的に分析し、その基本的考え方と研究法を修得する。また、健康増進に関する健康教育技法等について国内外の文献を吟味し、基礎的知識を修得する。	森田久美子 5803-5337 morita.phn@tmd.ac.jp
先端侵襲緩和ケア看護学特論A	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	先端的医療や侵襲的治療を受ける人々とその家族を理解し、重篤期から回復期、セルフマネジメントを必要とする時期に至るまで、さらには緩和ケアを含めた看護法および理論を学び、これらの専門的看護および研究方法を講義と討議により修得する。	井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp
先端侵襲緩和ケア看護学演習A	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	先端的医療や侵襲的治療を受ける人々とその家族を理解し、重篤期から回復期、セルフマネジメントを必要とする時期に至るまで、さらには緩和ケアを含めた看護法および理論を学び、これらの専門的看護および研究方法を演習により修得する。	井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp

先端侵襲緩和ケア看護学特論B	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	重篤患者、侵襲的治療を受ける患者や家族に対する看護実践の国際的動向とわが国の特色を理解し、各学生が現状の臨床看護課題分析および将来の臨床看護実践の取り組みに反映できるよう、ケアシステム論、援助方法論を含めて講義と討議により修得する。	井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp
先端侵襲緩和ケア看護学演習B	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	重篤患者、侵襲的治療を受ける患者や家族に対する看護実践の国際的動向とわが国の特色を理解し、各学生が現状の臨床看護課題分析および将来の臨床看護実践の取り組みに反映できるよう、ケアシステム論、援助方法論を含めて演習により修得する。	井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp
先端侵襲緩和ケア看護学実習	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	6	急性・重症患者間後専門看護師に求められる、個人・家族に生じる身体的・心理的・社会的困難のアセスメントと、困難への対処方法、看護ケアの開発などを含む卓越した実践、スタッフや他職種への教育的・指導的役割、コーディネーション、コンサルテーション機能、研究的姿勢、倫理的問題への対処等の能力形成への基盤となる実習を展開する。	井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp
精神保健看護学特論A-1	看護師免許取得者のみ履修可	2	人々の精神状態や発達課題の的確な評価に基づき、様々な年代や健康状態の人々に精神的援助を提供できる能力を養うために、精神医学的診断法、心理測定法、生活機能評価法等、精神保健に関連する様々な評価技法に学びつつ、看護学独自の視点に基づく評価方法を習得する。	田上美千佳 5803-5354 tanoue.pn@tmd.ac.jp
精神保健看護学特論A-2	看護師免許取得者のみ履修可	2	精神的な問題をもつ人々とその家族にとって適切な看護的援助を学ぶと共に、これらの技法を提供する上で必要な内省技法、面接技法、グループワーク技法を基盤としながら、精神保健看護学の分野における研究方法論について理解を深め、臨床現場のニーズに沿った研究に取り組める能力を養う。	田上美千佳 5803-5354 tanoue.pn@tmd.ac.jp
精神保健看護学演習A		2	対人関係論と集団力動論の視点と方法論に則った事例検討会への参加とその振り返りを通じて、事例分析や看護評価の方法とその理論的背景について理解を深め、個別・集団のスーパービジョン・コンサルテーション技法と能力を修得する。	田上美千佳 5803-5354 tanoue.pn@tmd.ac.jp
精神保健看護学特論B-1	看護師免許取得者のみ履修可	2	精神保健福祉をめぐる社会状況・関連法規、社会制度・社会資源の現状と変遷について理解を深める。保健医療福祉システムが内包する課題の明確化を図り、看護職の視点から、制度改革に向けた方策について、講義と討議によって学ぶ。	田上美千佳 5803-5354 tanoue.pn@tmd.ac.jp
精神保健看護学特論B-2		2	司法精神医療の現状と課題、並びに理論的、歴史的背景の検討を中心に、重大な他害行為を行った精神疾患患者の回復と社会復帰支援の実践について理解を深める。治療プログラムや多職種によるチーム医療等、司法精神医療の成果を一般精神医療に還元していく方策について、講義と討議によって学ぶ。	田上美千佳 5803-5354 tanoue.pn@tmd.ac.jp
精神保健看護学演習B		2	精神疾患患者の病状や心理社会的状況に応じた看護契約、権利擁護アメニティ向上の方法論、ならびに他職種との連携に根ざす急性期看護、回復期看護、リハビリテーション看護、在宅看護の充実を支える理論と方法論について、講義と討議によって習得する。	田上美千佳 5803-5354 tanoue.pn@tmd.ac.jp
精神保健看護学実習	精神保健看護学特論ABおよび精神保健看護学演習ABを履修した者のみ履修可	6	精神疾患患者との間に適切な援助関係を形成する経験を蓄積することを通じて、あらゆる人々への精神的援助を担い得る実践能力を高めると共に、看護職への支援、他職種との連携・調整、臨床実践に根ざす研究・教育を担い得る能力を養う。	田上美千佳 5803-5354 tanoue.pn@tmd.ac.jp
リプロダクティブヘルス看護学演習B	修士課程修了者のみ履修可	2	周産期における子、母、父、家族へのケア技術ならびにケア提供システムについてエビデンスを吟味する方略と、その要点を各種研究手法をクリティックすることによって修得する。	大久保功子 5803-5349 kouko.rhn@tmd.ac.jp
在宅ケア看護学特論A	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	在宅ケアに関連する保健医療福祉制度、社会システム、および看護提供体制について理解し、さらに対象者理解や援助展開に必要な基本的理論を理解し、実践事例をもとに在宅看護実践の具体方法を身につける。	本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp

在宅ケア看護学演習A	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	在宅看護の対象者、特にがん末期患者、難病療養者等、医療依存度が高く、また多職種が連携して支援する必要がある療養者に対する看護支援の方法、支援体制・システム等について理解し、在宅ケアの在り方について考究する。	本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp
看護病態生理学	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	がんの病態生理全般を理解し、現在わが国におけるがん治療を概観する。さらに、がんの診断、治療、および療養支援の現状を理解することにより、専門的に看護に関わる状況を把握する。	山崎智子 5803-5335 tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
がんエンドオブライフケア看護学特論A-1	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	診断・治療の時期より、在宅療養、および終末期に至るまでのがん患者に対して、専門的看護援助を実践する基礎となる理論を理解し、対象となる看護場面で理論を活用する方法を身につける。	山崎智子 5803-5335 tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
がんエンドオブライフケア看護学特論A-2	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	在宅・緩和ケアを必要とする病態的な特徴、がん治療、および看護の現状を理解する。さらに、診断治療に伴う問題の把握と援助方法、がん罹患と終末期にあることに関連する苦痛の把握と援助方法、そして、在宅における終末期看護について理解する。	山崎智子 5803-5335 tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
がんエンドオブライフケア看護学演習A	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	がん看護に関連する現在の問題、アセスメントの実際、および援助方法について、看護実践事例の分析、文献検討、専門家の取組みの報告等を通して検討し、実践で看護を展開する能力を習得する。	山崎智子 5803-5335 tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
がんエンドオブライフケア看護学特論B	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	がん患者を中心に、終末期療養における症状緩和の援助方法、療養環境コーディネーター、人生の終末に関する意思決定支援、看取りに向けた家族支援について理解する。	山崎智子 5803-5335 tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
がんエンドオブライフケア看護学演習B	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	がん患者を中心に、終末期に至るまでの診断・治療初期の時期、外来治療継続の時期、人生の終末の時期にある事例の情報収集と看護実践を体験し、この内容から今後望まれるがん終末期看護のあり方を考える。	山崎智子 5803-5335 tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
がんエンドオブライフケア看護学実習	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 がんエンドオブライフケア看護学特論・演習修得者	6	がん看護専門看護師受験資格取得のための実習。診断・治療から人生の終末までの全過程を通し、専門看護師としての基礎的態度、判断能力、実践応力を身につける。がん専門病棟の病棟・外来・退院支援部門等に加えて、在宅ホスピスを実践する訪問看護ステーションも実習施設とし、あらゆる場での終末期ケアの実践を通して看護の課題、および今後の方向性を検討する。	山崎智子 5803-5335 tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
看護システムマネジメント学特論A	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	看護管理、医療政策、研究法などに関連するさまざまな分野の文献・書籍を批判的に吟味することによって、高度化する医療の中で複雑化する現行の保健医療制度・政策を理解し、質の高い医療・看護を提供するための基礎的知識・能力を身につける。	深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp
看護システムマネジメント学特論B	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	看護管理、医療政策、研究法などに関連するさまざまな分野の文献・書籍を批判的に吟味することによって、高度化する医療の中で複雑化する現行の保健医療制度・政策を理解し、質の高い医療・看護を提供するための基礎的知識・能力を身につける。	深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp
看護システムマネジメント学演習A	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	臨床指向型研究でリーダーシップを発揮できる教育・研究者の育成を目指して、看護システムマネジメント学領域において個々の関心に沿い、かつ社会的意義もある研究テーマを設定し、研究計画を策定する能力を育成する。	深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp
看護システムマネジメント学演習B	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	臨床指向型研究でリーダーシップを発揮できる教育・研究者の育成を目指して、看護システムマネジメント学領域において、研究を実施し、発表するための能力を育成する。	深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp
高齢社会看護ケア開発学特論A	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	高齢社会を生きる高齢者・家族の健康に影響を与える要因を理解し、健康生活レベルのアセスメント、看護援助の理論と方法、コンサルテーション、ケアマネジメント、組織マネジメント、看護管理、看護・ケア施策・政策、国際的な医療・ケアの動向について学ぶとともに、高齢社会における新たなケアシステムの確立と発展への開発的研究能力を講義と討議により修得する。	緒方泰子 5803-5358 yogata.gh@tmd.ac.jp

高齢社会看護ケア開発学特論B	看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可	2	高齢社会を生きる高齢者・家族の健康に影響を与える要因を理解し、健康生活レベルのassessment、専門的な看護援助の理論と方法、コンサルテーション、ケアマネジメント、看護管理、リスクマネジメント、看護・ケア施策・政策、国際的な医療・ケアの動向について学ぶとともに、高齢社会における新たなケアシステムの確立と発展への開発的研究能力を講義と討議により修得する。	緒方泰子 5803-5358 yogata.gh@tmd.ac.jp
----------------	------------------------	---	---	--

(2) 生体検査科学専攻

①専攻科目

授業科目名	履修条件	単位数	講義等の内容	授業担当者 (電話番号・メールアドレス)
分子生命情報解析学特論A-1		4	ゲノム情報、プロテオミクス情報の急速な進歩によって、生命情報の何が明らかになって、何が未解明であるのか。生命現象の基本原則となる分子の働きを理解することを目指す。我が国の再生医療を支える原動力となる新しい人材を育成し、次世代の医療イノベーションへの創出に繋げる。	赤澤智宏 5803-5362 c.akazawa.bb@tmd.ac.jp
分子生命情報解析学特論A-2		4	細胞内情報伝達と代謝の観点から生命活動を理解し、そのための基礎的知識と論理的な思考方法を訓練する。代謝学、分子生物学と細胞生物学などを学び、細胞内エネルギー代謝機構を解析するための研究方法を修得する。	鈴木喜晴 5803-5364 nsuzbb@tmd.ac.jp
形態・生体情報解析学特論A		4	人体の構造と機能について理解を深める。さまざまな顕微鏡技術により、明らかにされてきた生体の構造と機能を学び、具体的なイメージング技術の原理とその応用を習得する。	星 治 5803-5361 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp
生命機能情報解析学特論A		4	分子・細胞レベルから器官までの個々の要素が統合されたシステムとしての生体のはたらきを、測定、解析する検査法について学ぶ。とくに、神経や循環などの臨床生理学的検査、画像診断検査について理論や技術を学び、さらに、それらに応用した研究方法を修得する。	角 勇樹 5803-5372 ysumi.pulm@tmd.ac.jp 笹野哲郎 5803-5365 sasano.bi @tmd.ac.jp
生体機能支援システム学特論A		4	本科目では視覚情報処理についての古典的な論文を題材に、生体現象の記録から数理解析やシステム論へと発展する経過を学び、生体現象の理解に工学的な観点を持ち込むことの意義を考える。	伊藤南 5803-5366 minami.bse@tmd.ac.jp
先端分析検査学特論A		4	血液、血清、尿など多種多様な成分を含む体液中で特定の成分を分析する技術は他の分野にない特殊性を持つ。この認識の上で、その体液成分に適した斬新な化学分析検査法を学び、さらにそれに必要な知識と技術を修得する。	戸塚 実 5803-5374 mtozuka.alc@tmd.ac.jp
生体防御検査学特論A-1		4	免疫系のしくみについて、現在の免疫学が細胞レベル、分子レベルで解明してきたことの概略を理解する。	窪田哲朗 5803-5369 tetsuo.kubota.mtec@tmd.ac.jp
生体防御検査学特論A-2		4	微生物学の基礎的知識とともに、実際の感染症病態における生体防御機構を包括的に考察する。分子・遺伝子レベルの最新のトピックスおよびそれらの臨床検査への応用についても修得する。	齋藤良一 5803-5368 r-saito.mi@tmd.ac.jp
分子病態検査学特論A		4	分子病態検査学では主に病理学的研究の進め方について講義を行う。その中で、病理組織学的検査の長所、短所について言及し、また病理学的試料を用いたゲノム解析、プロテオーム解析についても触れる。	沢辺元司 5803-5370 m.sawabe.mp@tmd.ac.jp
先端血液検査学特論A		4	疾患、特に血液疾患の病因、病態を分子・遺伝子レベルで解明したり診断するのに役立つ血液学的検査法・分子生物学的実験技法を学び、それに必要な知識と技術を修得する。	小山高敏 5803-5882 koyama.lmg@tmd.ac.jp
先端生体分子分析学特論A		4	有機分析化学、機器分析化学などの基礎を学び、高度分析機器による分析法および分析技術ならびに新たな分析方法を開発する能力を修得する。	笠間健嗣 5803-5794 kasama.bioa@tmd.ac.jp